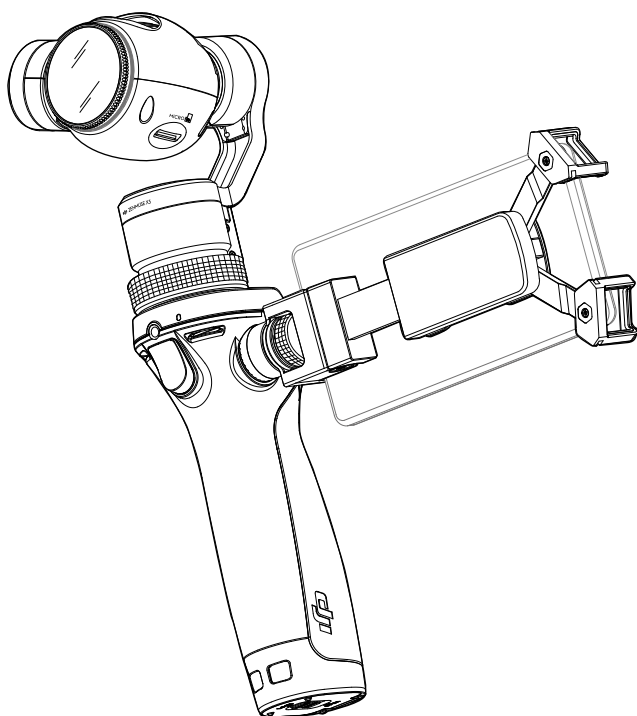


OSMO

ユーザーマニュアル

V1.0 2015.11



🔍 キーワード検索

「バッテリー」や「取り付ける」などのキーワードを検索し項目を探すことができます。この文書をご覧になるのに Adobe Acrobat Reader をお使いの場合、Ctrl+F キー (Windows) または Command+F キー (Mac) を押して検索を開始することができます。

👉 項目への移動

目次の項目一覧表をご覧ください。項目をクリックするとそのセクションに移動します。

このマニュアルの使い方

記号の意味

⚠ 重要

💡 ヒント

DJI GO アプリのインストール

App Store または Google Play で「DJI GO」アプリを検索し、アプリをお使いのモバイルデバイスにインストールしてください。



⚠ DJI GO は、iOS 8.0 (以降) または Android 4.1.2 (以降) に対応しています。

目次

このマニュアルの使い方	2
記号の意味	2
DJI GO アプリのインストール	2
はじめに	4
お使いになる前に	5
インテリジェントバッテリー	5
モバイルデバイスの取付け	7
モバイルデバイスホルダーの取り外し	8
外部マウント	8
ジンバルのロックの解除	9
ジンバルのロック	10
Osmo の使用について	10
操作と作業	10
操作モード	13
Inspire 1 の Zenmuse X3 との互換性	15
DJI GO アプリについて	15
ダウンロード	15
DJI GO アプリへの接続	15
主要なページ	16
ファームウェアのアップデートについて	21
DJI GO アプリ使用の場合	21
Micro SD カード使用の場合	22
お手入れについて	22
仕様	23
トラベルシューティング	25

はじめに

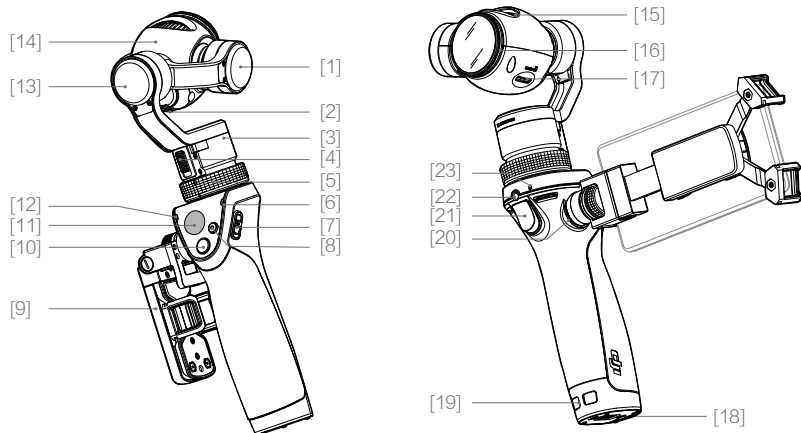
Osmo は、12 メガピクセルの静止画と 4K 動画を撮影することができ、内蔵マイクロフォンや外部マイクでの音声の録音が可能な 3 軸手持ちジンバルカメラです。指先一つで操作できるボタンを備えた、軽量で人間工学を基にした手になじむ設計により、片手で操作できるパーソナルな高性能撮影デバイスが実現しました。DJI GO アプリは、タイムラプス、自動パノラマ、長時間露光、スローモーションなどの撮影モードを追加し Osmo を充実させています。

3 軸安定化技術とスムーズトラック技術を搭載したジンバルは、手ブレを補正し動きを滑らかにします。操作ボタンで細かい操作を行うことができると同時に、もう一方の手で直接カメラの位置決めを瞬時に行えます。カメラは、170 度の広範囲でチルトし 640 度パン回転します。

ハンドル横の DJI ロゼットマウントにより、お使いのモバイルデバイスをライブビューファインダーとして取り付けることができ、特殊な撮影用途向けのカーマウントや三脚などの外部デバイスにも対応しています。

はじめに

図説



- | | | |
|---------------------|---------------------|-----------------------|
| [1] チルト軸モーター | [9] モバイルデバイスホルダー | [17] Micro SD カードスロット |
| [2] Micro USB ポート | [10] シャッターボタン | [18] バッテリーカバー |
| [3] パン軸モーター | [11] 操作ボタン | [19] ストラップホルダー |
| [4] パン軸ロック | [12] カメラステータスインジケータ | [20] DJI ロゼットマウント |
| [5] ジンバルロック | [13] ロール軸モーター | [21] トリガー |
| [6] システムステータスインジケータ | [14] カメラ | [22] 外部マイク入力 |
| [7] 電源スイッチ | [15] 排気口 | [23] 内蔵マイクロフォン |
| [8] 録画ボタン | [16] UV フィルター | |

お使いになる前に

インテリジェントバッテリー

容量 980 mAh のインテリジェントバッテリーが約 65 分間 Osmo に電力を供給します。

インテリジェントバッテリーの機能

Battery Balancing	Balances the voltage of each cell during charging.
Overcurrent Protection	Stops charging if the charging current is too large.
Overcharge Protection	Stops charging if its voltage is too high.
過放電保護機能	電圧が低すぎる場合、放電を停止します。
ショート保護機能	ショートが検出された場合、通電を遮断します。
温度制御	中心温度が 15° C (59° F) 以下に下がった場合、充電を停止します。
バッテリー残量表示	バッテリー残量は、DJI GO アプリに表示されます。

お
使
い
に
な
る
前
に

バッテリー仕様

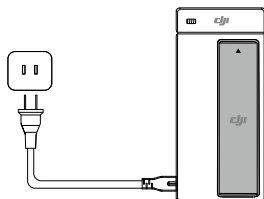
型名	HB01-522365
タイプ	LiPo
容量	980 mAh
出力	10.8 Wh
電圧	11.1 V
充電温度	15° ~ 40° C (59° ~ 104° F)
動作環境温度	-10° ~ 50° C (14° ~ 122° F)

- ⚠
- 初めて起動する際には必ずフル充電してください。
 - ご使用になる前に、ユーザーマニュアルおよびインテリジェントバッテリー安全ガイドをお読みください。使用および操作に関しては、使用者がすべての責任を負うものとします。

バッテリーの充電

付属ケーブルを使用してバッテリー充電器を電源コンセントに接続します。バッテリー充電器の LED インジケーターは緑色に点灯します。

バッテリーを充電器にセットします。充電時は、LED インジケーターは赤になります。バッテリーのフル充電には約 1 時間かかり、フル充電されたら LED インジケーターは赤色から緑色に変わります。



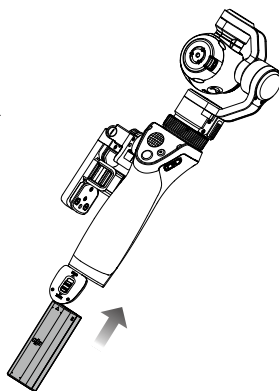
バッテリー充電器の仕様

型名	SOY015A-1260120
入力	100-240 V, 50/60 Hz
出力	12.6 V, 1.2 A

- ⚠
- バッテリーの充電には必ず付属の充電器を使用してください。DJI は、純正ではない充電器を使用していることによる事故に関しても一切の責任を負わないものとします。
 - 充電中でなければ、バッテリーの放電を防ぐためにバッテリーを充電器から取り外してください。

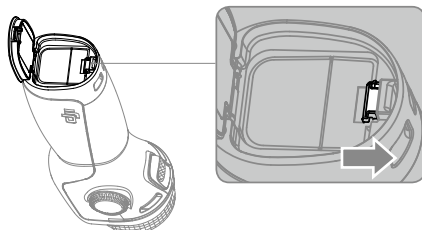
バッテリーの挿入

Osmo 底部にあるロックスイッチをスライドさせてバッテリーカバーを開けます。バッテリーを挿入しバッテリーカバーを閉じてロックします。



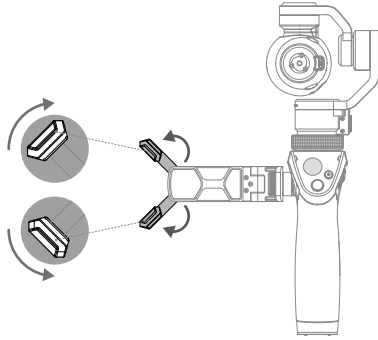
バッテリーの取り外し

Osmo 底部にあるロックスイッチをスライドさせてバッテリーカバーを開けます。赤い安全フックをバッテリーと反対方向 (矢印方向) に押しつけてロックを外してからバッテリーを取り出します。

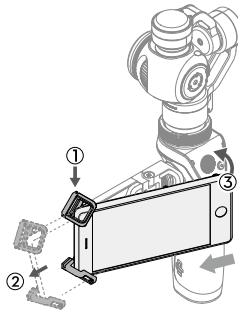


モバイルデバイスの取付け

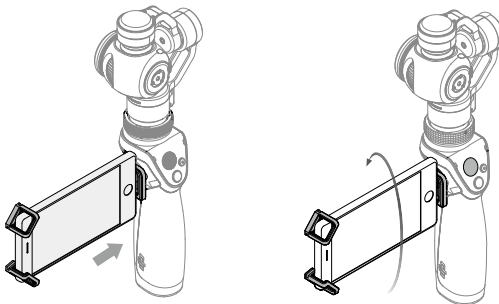
1. モバイルデバイスホルダーの2つのアームを開きます。
2. 適切な位置にパッドを調整します。



3. モバイルデバイスの一方の角をアームに固定します。
4. モバイルデバイス全体がモバイルデバイスホルダーにちょうど収まるようにアームを伸ばします。

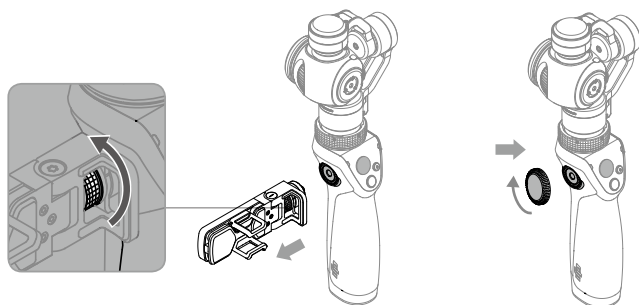


5. モバイルデバイスを適切な位置に回転させます。



モバイルデバイスホルダーの取り外し

モバイルデバイスホルダーは、ノブを反時計まわりに回して取り外すことができます。使用していない時には、DJI ロゼットマウント用キャップを取り付けることをお勧めします。



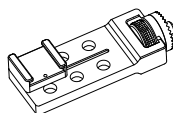
お
使
い
に
な
る
前
に

外部マウント

独自の用途に合わせて様々な種類の外部マウントを DJI ロゼットマウントに取り付けることができます。

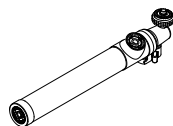
ユニバーサル・マウント

マイクフォンやフラッシュライトなどの外部デバイスの取付けに使用します。



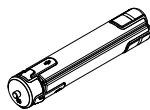
拡張ロッド

グループ写真や高いところからの写真の撮影または狭い場所に手を伸ばしての撮影に適しています。



三脚

安定した映像が必要な固定撮影のためのものです。



バイクマウント

Osmo を自転車に取り付けるために使用します。



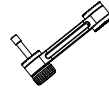
カーマウント

3つの吸盤マウントなので、走行中の車の上や後部ウィンドウへの取付けに最適です。



拡張アーム

同時に最大3つのマウントを取り付けるために使用します。

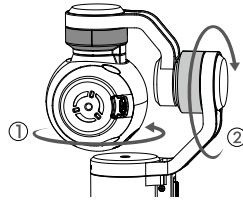


☞ • 詳細は、DJIの公式ストア (<http://store.dji.com>) をご覧ください。

ジンバルのロックの解除

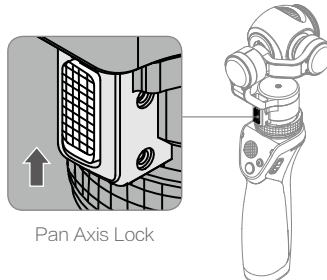
ジンバルを保護するために、モーターの3軸はロックされています。ジンバルのロックの解除については、以下の手順に従ってください。

1. チルト軸モーターが自由に回転するまでゆっくりと回転させます。ロール軸モーターも同様にします。



- ⚠ • カメラのレンズの損傷を避けるために、ロール軸モーターのロックを解除する前に、必ずチルト軸モーターのロックを解除してください。
- 自由に動ける程度にモーターを回転させます。

2. パン軸ロックを上方にスライドさせてパン軸のロックを解除します。



- △ Osmo の電源を入れる前または後にジンバルのロックを解除することができますが、Osmo の電源を入れる前に、ジンバルのロックを解除することをお勧めします。
- 電源を入れた後にジンバルをロックした場合、Osmo は、ゆっくりとピープ音を発します。このピープ音は、カメラは正常に動作しているが、ジンバル機能は停止していることを知らせています。
- 電源を入れた後にジンバルのロックを解除する必要がある場合、チルト軸モーターとパン軸モーターのロックを解除してジンバルを再起動させてからパン軸モーターを回転させてください。

ジンバルのロック

パン軸ロックを下げ、パン軸をロック位置まで（それ以上回らなくなるまで）回転させてからロール軸モーターとチルト軸モーターを調整し確実に固定します。

- △ Osmo の電源が入っている時は、ジンバルのロックおよびロックの解除が可能です。モーターのロックを解除した後、素早くトリガーを2回タップしてモーターを再起動します。

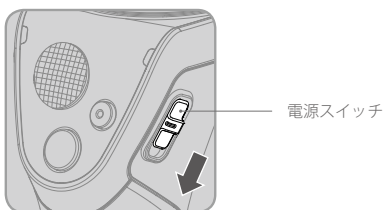
Osmo の使用について

操作と作業

ジンバルは、ハンドルの動きを予測してパンとチルトの切り替えを滑らかにし、スムーズトラック技術を利用して自然な腕の動きによる手ブレを軽減します。さらにハンドルの前後にボタンがあり、ジンバルとカメラを細かく制御できるようになっています。すべてのボタンとコントローラーについては以下の通りです。

[1] 電源スイッチ

- Osmo の電源を入れるには、電源スイッチを下げてから離します。
- もう一度電源スイッチを下げると、Osmo はスリープモードに入るかそのモードから出ます。
- Osmo の電源を切るには、電源スイッチを下げ 1.5 秒間そのままにします。



- △ 起動している時は、Osmo を固定するように真っ直ぐ持つてください。

[2] 操作ボタン

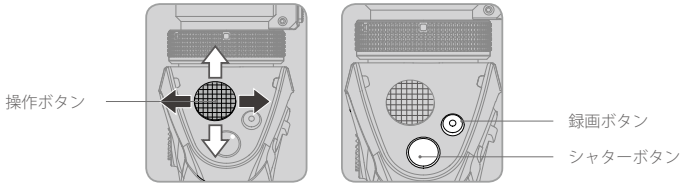
上下の動きでカメラがチルトし、左右の動きでカメラがパンします。

[3] シャッターボタン

ボタンを押すと DJI GO アプリの設定に基づき写真を撮ることができます。

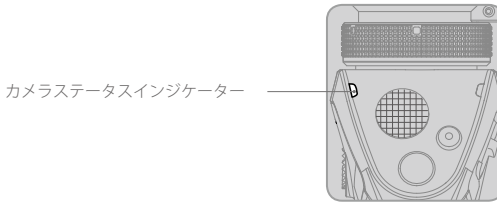
[4] 録画ボタン

このボタンを一度押すとビデオの録画が始まり、もう一度押すと録画が停止します。



[5] カメラステータスインジケータ

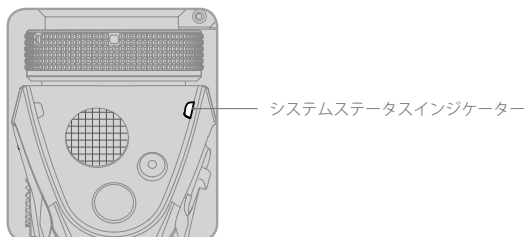
カメラのシステムの状態を示します。詳細は以下の表を参照してください。



点滅表示	解説
○ LED オフ	カメラは正常に機能しています。
⦿ 緑色に点滅	写真撮影中
⦿ 緑色にゆっくり点滅	セルフタイマー
⦿ 撮影ごとに緑色に点滅	連写撮
⦿ — 緑色に点灯	ファームウェアのアップデート成功
⦿ 赤色にゆっくり点滅	動画録画中
⦿ / ⦿ 赤色と緑色に交互に点滅	ファームウェアのアップデート中
⦿ — 赤色に点灯	カメラが Osmo に正しく取り付けられていません / ファームウェアのアップデートに失敗またはシステムエラー
⦿ × 2 赤色に 2 回点滅	カメラエラー
⦿ 黄色に点滅	Micro SD カードがバジー状態
⦿ — 黄色に点灯	Micro SD カードエラー

[6] システムステータスインジケータ

Osmo の状態を示します。詳細は以下の以下の表を参照してください。



システムステータスインジケータ 解説

⊙ …… 緑色に早く点滅	Osmo は初期化しています。ノースリープモードの終了
⊙ …… 赤色にゆっくり点滅	ローバッテリーレベル警告
⊙ …… 赤色に早く点滅	致命的なローバッテリーレベル警告
⊙ — 黄色に点灯	トリガーがタップされジンバルがロックモードになっています。
⊙ — 赤色に点灯	純正でないバッテリーが検知されました。
⊙ — 緑色に低速で点滅 (ハイバッテリーレベル)	Osmo はスリープモードにあります。
⊙ — 赤色に低速で点滅 (ローバッテリーレベル)	

[7] トリガー

トリガーを長押しするとロックモードが有効になります。ハンドルの動きに関係なくカメラは現在の位置に留まります。トリガーを離すと、Osmo はスムーズトラックモードに戻ります。

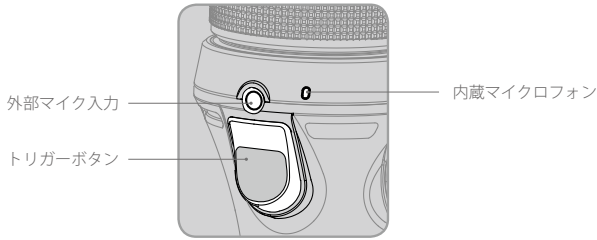
トリガーを素早く 2 回タップするとカメラは中央に戻ります。Osmo がアップライトモードや吊り下げモードにある場合、トリガーを素早く 3 回タップすると自撮りモードに入ります。

[8] 外部マイク入力

3.5 mm 外部マイクロフォンを接続し高音質な音声を録音します。

[9] 内蔵マイクロフォン

音声を録音します。DJI GO アプリでマイクロフォンをオフにすることができます。



- ⚠
- 外部マイクロフォンは、内蔵マイクロフォンの音声受信より優先されます。
 - 内蔵マイクロフォンがジンバルモーターからノイズを拾うのは異常ではありません。

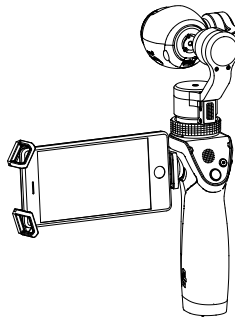
[10] Wi-Fi 設定の復元

トリガーとシャッターボタンを同時に長押ししてから、システムステータスインジケーターが緑色に点滅するまで電源スイッチを下げます。トリガーを離す前に電源ボタンを離します。Wi-Fi 接続用の初期設定 SSID、パスワード、周波数が復元されます。

操作モード

アップライトモード

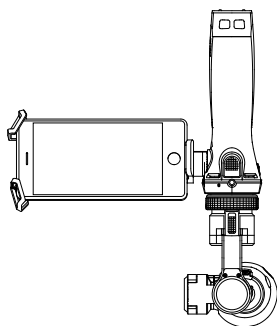
アップライトモードは、ユーザー入力なしに使用することができます。このモードでは、トリガーを素早く 2 回タップするとカメラは中央に戻ります。



トリガーを素早く 3 回タップすると、カメラはあなたの方に向き自撮りができます。

吊り下げモード

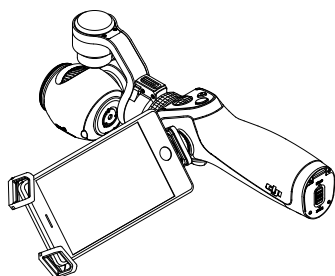
Osmo を逆さまに持つことにより吊り下げモードに入り、カメラは容易に低い位置からの映像を撮ることができます。トリガーを素早く 2 回タップするとカメラは中央に移動します。



トリガーボタンを素早く 3 回タップすると、カメラはあなたの方に向き自撮りができます。

フラッシュライトモード

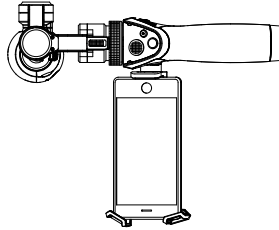
Osmo をアップライトモードから前方に 90 度回転させるとフラッシュライトモードに入ります。トリガーを素早く 2 回タップするとカメラは中央に移動します。



フラッシュライトモードでは、操作ボタンを押すとカメラは左右にパンすることができます。

ポートレートモード

Osmo をアップライトモードから左か右に 90 度回転させるとポートレートモードに入ります。



Inspire 1 の Zenmuse X3 との互換性

Osmo は、Inspire 1 に搭載した Zenmuse X3 ジンバルカメラと互換性があります。Zenmuse X3 を Osmo のハンドルに取り付ける前に、（本マニュアルの後にすぐにリリースされる）最新のファームウェアを使用して、必ず Zenmuse X3 をアップデートしてください。

DJI GO アプリについて

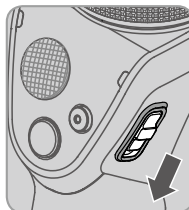
DJI GO アプリを使用して、お使いのモバイルデバイスでリアルタイムの HD ビデオ画像をご覧いただけます。さらにこのアプリにより、数回タップするだけでカメラとジンバルを設定することができます。

ダウンロード

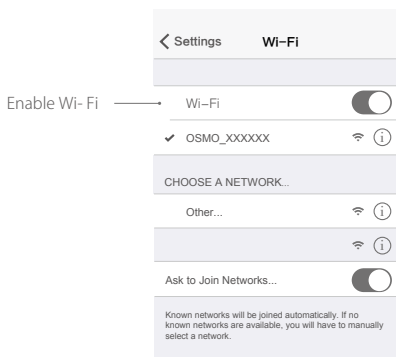
App Store または Google Play で「DJI GO」を検索し、アプリをお使いのモバイルデバイスにダウンロードしてください。

DJI GO アプリへの接続

1. Osmo の電源を入れます。Osmo の起動中は、ハンドルを固定するようにしっかりと持ちジンバルに触れないようにしてください。



- お使いのモバイルデバイスで、「OSMO_XXXXXX」Wi-Fi ネットワークに接続し、初期設定パスワード 12341234 を入力します。次に DJI GO アプリを起動します。



- 初めて Osmo をご使用の場合、画面上の指示に従って起動させてください。インターネットに接続して DJI アカウントにログインする必要があります。起動完了後、OSMO Wi-Fi ネットワークに再度接続してください。
- カメラビューに入ります。問題なく接続されていれば、カメラが捉えるものをリアルタイムで確認できます。

☀️ • カメラビューに入ると Osmo の使用方法についてのチュートリアルがあります。

主要なページ

1. 機器 > カメラ



[1] 情報バー

情報バー

カメラのパラメータ、現在のバッテリー残量、Wi-Fi 信号強度を表示します。

[2] : 写真・ビデオスイッチ

スライドさせ写真やビデオモードに切り替えます。

[3] 写真・ビデオ設定

: 写真モード

• シングルショット

通常、5 秒か 10 秒遅れでのショット、HDR。

• 複数のショット

3/5/7 枚の連写撮影、オートブラケット (AEB) : 3/5 枚 (0.7EV ステップ)

• パノラマ

自動: カメラが 360 度回転しパノラマ画像にします。

自撮り: カメラがあなたの方を向き、180 度/パンしてパノラマ画像にします。

• 撮影間隔タイマー

5 秒、10 秒、30 秒間隔。

• タイムラプス

1) 「JPEG+ ビデオ」形式でタイムラプスを保存した場合、最小間隔は 2 秒に制限されます。
このオプションを無効にすると最小間隔は 1 秒に短縮します。

2) タイムラプス間隔が 2 秒以上の場合、カメラは、デジタル安定化機能をお使いのモバイルデバイスのライブ HD ビデオに適用します。

: ビデオモード

• 自動: カメラ設定に基づく通常ビデオ、スロー。

• 動画: 1080p、120fps での録画が可能。

[4] : シャッター・録画ボタン

写真モードで写真を撮影し、ビデオモードで動画を録画します。

[5] : カメラのパラメータ設定

撮影モード、ISO、シャッタースピード、露出値を選択します。

[6] : 再生

タップして Micro SD の写真や動画を見ます。

[7] 00:00:00 | 01:25:45 : タイムバー

現在の録画時間と残りの録画時間を表示します。

[8]  設定

カメラの設定

ここで写真、動画の録画、音声の録音の出力形式を選択し、グリッドやヒストグラムとして画面上の表示を有効にすることができます。

• オーディオの録音

内蔵マイクロフォンや外部マイクを使って音声を録音したい場合、このオプションを有効にします。

• 動画の字幕

このオプションを有効にすると、画面情報を含む .srt ファイルが動画ファイルとともに作成されます。

• タイムラプス形式

「JPEG+ 動画」を選択するとタイムラプス写真および動画が保存されます。

• アンチフリッカー

お住まいの国の電流サイクルに適合した周波数を選択して光のちらつきを抑えます。

• ファイルインデックスモード

「リセット」を選択すると、カメラは、利用可能な最小インデックスから始まる写真と動画のファイルを書き込みます。「継続」を選択すると、カメラは、最後に書き込まれたファイルからインデックスを継続します。

ジンバルの設定

• プロファイル

希望するジンバルの反応速度に応じて「高速」、「中速」または「低速」を選択します。あるいは、C1 か C2 を選択し以下の設定を行うことでカスタムプロファイルを作成することもできます。

• スムーズトラック設定

パン軸とチルト軸を個別に調整することができます。

速度：Determines how fast the gimbal will catch up with the translated pan/tilt handle movement.

デッドバンド：デッドバンドが大きい方がより大きいパン軸、チルト軸、ロール軸のハンドルの動きをジンバル動作に伝える必要があります。

加速：カメラが伝達されたパン軸、チルト軸、ロール軸のハンドルの動きにどの程度厳密に従うのかを決定します。

• 操作ボタンの設定

スムージング：ジンバルの減速を制御します。値が小さいとジンバルは急停止します。

速度：操作ボタンで操作する場合、チルト軸とパン軸の移動速度を制御します。

• 水平キャリブレーション

プラス値またはマイナス値を設定することにより、カメラの水平レベルが完全には水平でない時は、ロール軸のキャリブレーションを行う必要がある場合があります。

- 自動キャリブレーション


周囲の磁気干渉や人為的ミスによって生じるドリフトを低減します。キャリブレーション中は、Osmo を固定するように真っ直ぐに持ちます。

- ジンバルのリセット


タップしてジンバルを初期設定に戻します。



一般設定

ここで Wi-Fi パスワードの変更、ビデオキャッシュの消去、Micro SD カードのフォーマット、現在のファームウェアバージョンの確認等を行うことができます。

[9]  : ホワイトバランス

タップして写真や動画のホワイトバランスを調整します。

[10]  : ジンバルの機能

タップしてロックモードを有効にします。タップしてカメラを中央に戻します。  

[11]  : ホーム

タップしてホーム画面に移動します。

ドラッグフォーカス

カメラビューで、画面にタッチして青丸が表示されるまで長押ししてから青丸をドラッグしてカメラを操作します。

2. ライブラリ

あなたの最高傑作をすべて一か所で表示、編集および共有できます。ライブラリには、撮影後、動画や写真をオンラインで共有する前に編集できるシンプルながら強力なさまざまなツールが揃っています。



DJI アカウントにログインまたは登録すると、簡単に作品をアップロードし共有することができます。保存された写真や動画は Skypixel(www.skypixel.com) にアップロード可能で、Facebook や Twitter、WeChat、Moments、Sina Weibo 等のソーシャルネットワークで共有することができます。

動画

録画した動画映像はすべて「オリジナル映像 (Original Footage)」に表示されます。映像を切り取り「映画作成」に保存することができます。複数のクリップを選択し組み込まれている編集ツールとテンプレートを使用して素早く映画を作ることができます。

写真

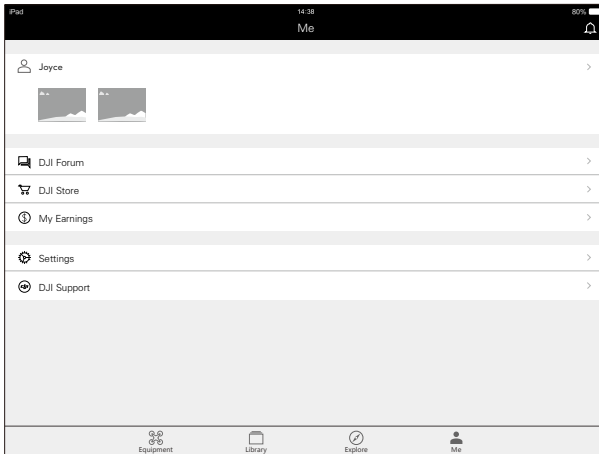
写真を編集するには、パラメータの調整や写真サイズの編集を行い、透かしやフィルターを追加します。

3. エクスプローアー

DJI の最新イベント、注目製品および話題になっている Skypixel のアップロードについての詳細はエクスプローアーページをご覧ください。

4. 自分 (Me)

すでに DJI アカウントをお持ちの場合、フォーラムでのディスカッションに参加し、DJI ストアでクレジットを獲得し、作品をコミュニティと共有したりすることができます。



ファームウェアのアップデートについて

バッテリー残量が最低 50%あることを確認してください。アップデートが完了するまで約 20 分かかります。アップデート中は、ジンバルをロックしてハンドルを平らに面に置くことをお勧めします。

アップデート中、カメラステータスインジケータは、緑色と赤色に交互に点滅し、ファームウェアのアップデートが完了すれば、緑色に点灯します。アップデートが失敗した場合、カメラステータスインジケータは、赤色に点灯するので再度アップグレードを行ってください。

DJI GO アプリ使用の場合

Osmo をお使いのモバイルデバイスに接続してから DJI GO アプリを起動します。新しいファームウェアのアップグレードが利用できる場合、お知らせがあります。アップデートを開始するには、お使いのモバイルデバイスをインターネットに接続し、画面上の指示に従ってください。

⚠️ •アップデートを開始するには、Micro SD カードを Osmo に挿入する必要があります。

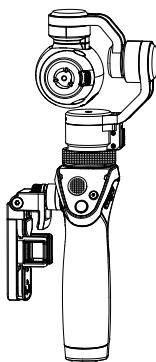
Micro SD カード使用の場合

1. DJI の公式ウェブサイトの製品ページから最新のファームウェアアップデートパッケージをダウンロードします。
2. .bin ファイルを Micro SD カード（十分な容量があることを確認してください）のルートディレクトリにコピーし、Osmo の電源が切れている状態でカメラの Micro SD カードスロットにカードを挿入します。
3. Osmo の電源を入れるとアップデートが始まります。
Micro SD カードのルートディレクトリの .txt ファイルを見てアップデート結果を確認してください。

⚠ • Osmo を再起動させ、カメラステータスインジケーターが通常の使用のオフになっていることを確認してください。

お手入れについて

ジンバルを保護するために、以下に示すように移動の際は、Osmo をロックしておいてください。



Osmo には防水性能はありません。使用中は砂やほこりが付かないようにしてください。使用後は、乾いた柔らかい布で Osmo をきれいに拭くことをお勧めします。絶対に Osmo に洗剤を噴霧しないでください。

仕様

ハンドル	
サイズ	2.4 × 1.9 × 6.4 インチ (61.8 × 48.2 × 161.5 mm)
重量 (バッテリー含む)	201 g
ジンバル	
モデル	Zenmuse X3
重量	221 g
出力電力 (カメラ搭載時)	静止時: 9 W; 動作時: 11 W
制御角度精度	± 0.03°
マウント	取り外し可能
操作可能範囲	チルト: -35° to +135°
	パン: ± 320°
機械的な可能範囲	ロール: +30° to -30°
	チルト: -90° to +150°
最大動作速度	パン: ± 330°
	ロール: -50° to +90°
カメラ	
モデル	X3/FC350H
機械的な可能範囲	Sony Exmor R CMOS
	1/2.3"
最大動作速度	有効画素数: 12.40 M
	(総画素数 12.76 M)
ISO レンジ	94° FOV (視野角) 20 mm (35 mm フォーマット換算) f/2.8
電子シャッター速度	100–3200 (動画)
最大静止画サイズ	100–1600 (静止画)
静止画モード	8 s–1/8000 s (カメラが M モードの時は上限 30s まで)
	4000 × 3000 ピクセル
	シングル撮影
	写真バーストモード: 3/5/7 枚
	オートブラケット (AEB): 3/5 枚 (0.7EV ステップ)
インターバル	
タイムラプス	
自動パノラマ	
自撮りパノラマ	

	UHD: 4K (4096 × 2160) 24/25p 4K (3840 × 2160) 24/25/30p 2.7K (2704 × 1520) 24/25/30p FHD: 1920 × 1080 24/25/30/48/50/60/120p HD: 1280 × 720 24/25/30/48/50/60p
ビデオ解像度	
ビデオ録画モード	自動 スローモーション
最大ビットレート	60 Mbps
対応ファイルシステム	FAT32 (≤ 32 GB) exFAT (> 32 GB)
写真対応ファイル形式	JPEG, DNG (RAW)
ビデオ対応ファイル形式	MP4, MOV (H.264 / MPEG-4 AVC)
対応 SD カード	Micro SD 最大容量 : 64 GB Class 10 または UHS-1
動作環境温度	32° ~ 104° F (0° ~ 40° C)
オーディオ出力	2チャンネル 48 kHz AAC
Wi-Fi ビデオリンク	
動作周波数	2.412–2.462 GHz 5.180–5.805 GHz
最大通信距離	82 feet (25 m)
トランスミッター電力 (EIRP)	2.4 GHz: 8 dBm 5 GHz: 12 dBm
インテリジェントバッテリー	
モデル	HB01-522365
タイプ	LiPo
容量	980 mAh
エネルギー	10.8 Wh
電圧	11.1 V
充電温度	59° to 104° F (15° to 40° C)
動作環境温度	14° to 122° F (-10° to 50° C)
充電器	
モデル	SOY015A-1260120
入力	100–240 V, 50/60 Hz
出力	12.6 V, 1.2 A

トラブルシューティング

1. Osmo に接続できない

お使いのモバイルデバイスの Wi-Fi 設定をチェックし、Osmo の Wi-Fi ネットワークに接続されていることを確認してください。

それでもなお解決されない場合は、キーコンビネーションを使用して、Osmo の Wi-Fi ネットワークをデフォルト設定に戻し、再度接続を試みてください。（キーコンビネーション：トリガーボタンとシャッターボタンを同時に長押ししてから、システムステータスインジケータが緑色に点滅するまで電源スイッチを下げ、電源ボタンを離してからトリガーボタンとシャッターボタンを離す。）

それでも改善しない場合は、オンラインサポート (www.dji.com/support) にお問い合わせください。

2. 開梱後、ジンバルが作動しない。

Osmo を DJI アカウントにリンクし、アクティベーションを行ってください。お使いのモバイルデバイスを Osmo の Wi-Fi ネットワークに接続し、DJI GO アプリを起動し、画面上の指示に従ってアクティベーションを行ってください。

3. Osmo の電源を入れた後、ピープ音が鳴り続ける。

ジンバルがロックされています。チルト軸とロール軸を自由に動くようになるまで回転してください。パン軸がロックされている場合、パン軸ロックを自由に動くようになるまでスライドさせてください。

4. ビデオを録画中に、バッテリーの残量がなくなった。

カメラから Micro SD カードを取り外さないでください。バッテリーを再充電するか、または、新しいバッテリーをハンドルに挿入してください。Osmo は起動時に、自動的にビデオファイルを復元します。

5. 素晴らしい長時間露光写真を撮影するには？

長時間露光撮影はシャッタースピードを遅くすることで可能となります。DJI GO アプリで、“S” モード（シャッター優先）または“M” モード（マニュアルモード）を選択し、シャッタースピードを好みの値に設定してください。シャッター作動中は、カメラを静止した状態に保つようにしてください。

6. Osmo でビデオ録画中に、DJI GO アプリを閉じたり、モバイルデバイスの接続を外すことは可能？

可能です。ビデオの録画の継続、また、写真の撮影が可能です。しかし、お使いのモバイルデバイスでプレビューを見ることはできません。

7. Osmo と Inspire1 のカメラは似ているが、同じものですか？

いいえ、異なります。Osmo カメラの機械的な構造は手持ち用に設計されています。Osmo の3軸ジンバルはたたんでロックすることができます。また、チルト軸モーターの位置も違います。しかし、Inspire 1 のカメラは最新のファームウェアでアップグレードして（近日リリース予定）、Osmo のハンドルで使用できます。

This content is subject to change.

**Download the latest version from
www.dji.com/product/osmo**



If you have any questions about this document, please contact DJI by sending a message to DocSupport@dji.com.